

けいほく

感度良好 さがみっ子！



相模原市立桂北小学校
学校だより 8月号
令和8年8月25日



一人ひとりが輝く2学期に

静かだった校舎に、子どもたちの元気な姿と賑やかな声が戻ってきました。今日登校してきた子どもたちの様子から、この夏休みをご家族と過ごしたり、好きなことに挑戦したりと、心に残る貴重な体験をして、ひと回り大きく成長したことを感じました。

さあ、実りの秋、2学期のスタートです。2学期は、学校全体がますます活気にあふれてきます。5年生は、9月に千木良小学校の仲間との絆を深めるやませみ宿泊体験学習があります。10月は全校のみんなで協力し合う運動会、11月はさがみっこフェスティバルと続きます。6年生は、12月に連合運動会もあります。どれも、子どもたちを成長させる大切な学びの場となります。主役は、子どもたち一人ひとりで、児童会のテーマにもあるように、「みんなの心をつなげるにはどうしたらいいか」「もっと楽しくするにはどうしたらいいか」を一人ひとりが考えながら、仲間と力を合わせて進んでいってほしいと思っています。時には意見がぶつかったり、うまくいかなかったりすることもあるでしょう。しかし、それを乗り越えようと知恵を出し合い、励まし合いながら一つのものを創り上げる経験は、子どもたちを大きく成長させ、かけがえのない財産となります。「やってよかった」と全員が心から思えるように、私たち教職員も子どもたちの挑戦を全力で応援します。

日々の生活や学習も充実してくる2学期です。この2学期からは、子どもたちの個人端末で生成AIの活用も始まります。生成AIの正しい活用方法を習得し、新たな学び方を獲得することになります。学校生活の中でいろいろな経験を積んでいきながら、54名の子どもたち一人ひとりが輝き、成長を実感できる2学期になるよう心から願っています。

朝夕は秋を感じるようになりましたが、まだまだ暑い日が続きそうです。熱中症予防など地域や保護者の皆様のお力添えをいただきながら、子どもたちが安全に安心して学校生活を送っていけるよう努めてまいります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

安全安心な毎日のために... あいさつが広がる地域へ



熊本の地震、千葉の豪雨で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っています。世界に目を向けても、異常気象や災害が多発しています。地球環境の深刻さを痛感し、地球の未来のために、私たち一人ひとりができることを真剣に考え実行していかなければと思いました。学校では、節電や暑さ対策の工夫など、環境にやさしい生活を心がけていきたいと思えます。

また、子どもたちの安全安心のため、交通安全や不審者対応などの人的被害の防止にも努めてまいります。2学期には、25年前、大阪教育大学附属池田小学校で起きた事件をきっかけに始まった不審者対応訓練が予定されています。それに向けて夏休み中には、津久井警察署生活安全課の方をお招きして不審者対応研修を行いました。大切なことは、門を締め、校舎への入口はしっかりと施錠して不審者の侵入を未然に防ぐこと、万一のときには照明を落として人がいないように見せかけることなど、防犯に関して多くの有意義な示唆をいただきました。中でも特に印象的だったのが、「あいさつこそが犯罪の強力な抑止力になる」というお話でした。日頃から活発にあいさつが交わされている地域では、不審者も人々の目を感じ、反社会的な行動を起こす気持ちが削がれるというのです。あいさつは、お互いの存在を認め合い、心を通わせることができる短くも大切な言葉だからこそ、そうした抑止効果が生まれるのだと思います。誰もが安心して暮らせる明るい社会を築いていくためにも、「元気のいいあいさつができる子どもたち」を育てていきたいと強く感じました。

自然災害は予測できませんが、備えることはできます。9月には、関東大震災を教訓とした「さがみはら1分間行動訓練」を実施していざというときに備えます。ご家庭でも、安全安心のために『防災・防犯』への備えと『あいさつの大切さ』について話し合う時間をつくっていただきたいと思います。

校長 佐藤 玲子

